

平成31年度富士見市介護保険特別会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

平成31年度の予算編成にあたっては、昨年度に引き続き、第7期高齢者保健福祉計画の基本理念である「住み慣れた地域で、いつまでも生きいきと生活できる支えあいのまち」の実現に向け、在宅医療・介護の連携推進や認知症施策・生活支援・介護予防の充実など、地域包括ケアシステムの深化に向けた予算編成を行った。

(2) 予算規模

平成31年度介護保険特別会計予算の歳入歳出総額は、70億3,761万1千円となり、前年度に比べ、1億897万1千円の増、率にして1.6%の増となった。

主な要因は、認定者の増加や消費税増税、及び平成30年度中に2棟が開所した特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）に伴う保険給付費の増加などによるものである。

2 歳入予算の主な特徴

(1) 保険料

介護保険料の総額は、被保険者数の増加等に伴い、17億350万7千円となり、前年度に比べ1,128万4千円の増、率にして0.7%の増となっている。

(2) 国庫支出金

国庫支出金の総額は、14億8,174万6千円となり、前年度に比べ、6,277万9千円の増、率にして4.4%の増となっている。

主な要因としては、国庫負担金が、介護給付費の増加に伴い2,359万8千円の増となることや、調整交付金が後期高齢者の増加に伴い4,353万5千円の増となることなどによるものである。

(3) 支払基金交付金

支払基金交付金は、18億3,397万6千円となり、介護給付費の増加に伴い、前年度に比べ、2,780万円の増、率にして1.5%の増となっている。

(4) 県支出金

県支出金は、10億2,264万2千円となり、前年度に比べ、831万5千円の増、率にして0.8%の増となっている。

主な要因としては、県負担金が、介護給付費の増加に伴い1,054万4千円の増となることによるものである。

(5) 繰入金

繰入金は、9億9,406万9千円となり、前年度に比べ、135万3千円の減、率にして0.1%の減となっている。

主な要因としては、介護給付費繰入金は、介護給付費の増加に伴い1,313万2千円の増となったものの、保険料や調整交付金の増加に伴い、基金繰入金が2,854万8千円の減となることなどによるものである。

3 歳出予算の主な特徴

(1) 総務費

総務費は、7,336万6千円となり、前年度に比べ、617万6千円の増、率にして9.2%の増となっている。

主な要因としては、要支援者の認定期間が2年間となったことで昨年度減額していた介護認定審査会委員報酬や主治医意見書作成料などが増加するためである。

(2) 保険給付費

保険給付費は、66億3,776万3千円となり、前年度に比べ、1億505万5千円の増、率にして1.6%の増となっている。

主な要因としては、認定者の増加や消費税増税、及び平成30年度中に特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）2棟が開所したことなどによるものである。

(3) 地域支援事業費

地域支援事業費は、3億1,871万円となり、前年度に比べ、251万9千円の減、率にして0.8%の減となっている。

主な要因としては、一般介護予防事業におけるパワーアップ体操普及啓発用DVD作成経費の皆増や、生活支援体制整備事業において増額予算を計上した一方、システム改修費の皆減や通所型サービス費の精査などを行った結果、減額となったものである。

4 平成31年度介護保険特別会計予算（款別一覧）

（単位 千円）

歳 入			歳 出		
款 名 称	平成31年度 当初予算額	対前年度 増減額	款 名 称	平成31年度 当初予算額	対前年度 増減額
1 保険料	1,703,507	11,284	1 総務費	73,366	6,176
2 国庫支出金	1,481,746	62,779	2 保険給付費	6,637,763	105,055
3 支払基金交付金	1,833,976	27,800	3 地域支援事業費	318,710	△2,519
4 県支出金	1,022,642	8,315	4 基金積立金	1,371	259
5 財産収入	1,371	259	5 諸支出金	1,401	0
6 繰入金	994,069	△1,353	6 予備費	5,000	0
7 繰越金	1	0			
8 諸収入	299	△113			
合 計	7,037,611	108,971	合 計	7,037,611	108,971